

### 第十回 もり森林を考える岡山県民のつどいが十月二十四日に開催されました



勝間田高校郷土芸能部 金時太鼓の勇壮な演奏に始まり、東京大学大学院 教授 安藤直人氏による 基調講演「木の魅力を語る」が行われました。また、無料苗木の配布や親子ふれあいコーナー、特産品の販売などもあり、たくさんの人出でにぎわいました。

### 「一言ご意見をお書きください」ボックスを設置しています



議場傍聴席の入り口に、アンケート用紙が置いてありますので、ご意見をお寄せください。議会だよりに載せるときは匿名で掲載しますので、ご住所、お名前をお書きください。市民の皆さんのご意見をお待ちしています。今回は、市民の方からいただいたご意見を紹介します。九月議会に傍聴に来ていただいた方は、百十七人でした。

#### 今議会で関心のあったこと

ごみ処理の建設問題について、行政が解決していこうと努力しているのに、市議の中に後ろ向きな話をしていく。「大同小異」の心がなければ議会は前に進まないと思

思。今後、議会に期待すること

議員さんに期待することは、行政に質問したり、要望するだけでなく、自分が今、取り組んでいることで行政が耳を傾け、感動を与えるような発言をしてほしい。傍聴しての感想

九月十一日は、傍聴者が約二十人足らず。市民は議会でどんなことが議題になって、どんな問題が起きているか、無関心だろうか？もつと市民が傍聴して関心を高めるような方策を考える必要があると痛感した。例えば、町内会の役員さんに呼びかけ、順次動員して議会を盛り上げるとか、市民参加に力を入れる方策を考えてほしい。

#### 表紙写真の説明

今回は、院庄幼稚園、久米保育所、二宮幼稚園へ撮影に行きました。

院庄幼稚園に通園している児童(園児)は、二十一人で赤組と青組の二クラス編成となっています。教育目標は、「豊かな心情をもち、自分で考えて行動する、健康でたくましい幼児の育成」で、「健康で安全な生活をするための、基本的生活習慣や態度を育てる」ことを指導の重点にされています。久米保育所に通園している児童(園児)は、百七十二人で、保育目標は、「基本的生活習慣を身につけ、自主的に行動できる子ども」「健康でのびのびとした明るい子ども」「情緒豊かな子ども」「創造力豊かな子ども」とされています。

二宮幼稚園に通園している児童(園児)は十九人で、二クラス編成となっています。教育目標は、「心身ともにたくましい子どもを育てる」で、「身近な自然環境を生かして、友達と遊び、多様な生活体験を重ねる中で、豊かな情操を育むと共に、規範意識の芽生えを育てる」ことを指導の重点にされています。園名は合成写真です。



インフルエンザ対策と資源循環施設(領家地区に建設予定の広域ごみ処理センター)の質問を多くの議員が質した議会でした。新クリーンセンター建設に対し第三者機関(適地選定委員会)を設置し、企業誘致的な発想のもと、公募型という新たな発想で適地を選定し総合的・科学的判断により決定しました。今なぜ、公募した地元からごみ処理センターの再考を求める運動が起きているのか理解に苦しみます。適地選定から二年と三か月。いったい何が現場で起きたのでしょうか。公募申請、施設配置や土壌などに問題があるのか、十分に説明責任を果たさなかったのか。いずれにせよ、市民生活に直結している課題であり、解決に向け、知恵を出すべきと考えます。「津山市議会」ごみ処理施設建設に関する調査特別委員会」に期待します。(耕)

初めての編集後記です。市議会だよりは市民と市議会を結ぶ架け橋と位置づけ、興味深く読んでいただける記事になるよう努力したいものです。(周)

日本人がお茶を注ぐとき、実に細かい心配りをしています。これは長い伝統の中から自然に身についた性質であり、まさにすばらしい文化のひとつではないでしょうか。(慎) 民主党が天下を取って政権交代、小泉改革の批判がここまできたが、公約のあり方、選挙のやり方、どれをとっても小泉さんの二番煎じに思えるが今後の政治は如何(修)

#### 広報調査特別委員会メンバー

- ◎ 末永弘之 ○ 吉田耕造
- 秋久憲司、秋山幸則、岡田康弘、北本周作
- 田口慎一郎、西野修平、原 行則